

2008-2009 年度放射化分析研究会拡大幹事会議事録

日時：2008 年 9 月 25 日 18:00～19:30

会場：広島大学霞キャンパス広仁会館 1 階小会議室（広島市南区霞 1-2-3）

出席者：海老原充、葉袋佳孝、榎本和義、松尾基之、大浦泰嗣、宮本ユタカ、高宮幸一、松江秀明、
（敬称略） 初川雄一、三浦勉、福島美智子、関本俊

議事

1. 選挙について

海老原代表幹事より今年度の選挙の経緯について説明があった。選出幹事（任期：2008-2009, 2009-2010）、留任幹事（任期：2007-2008, 2008-2009）は以下のとおり。

選出幹事：海老原充、河野公栄、木川田喜一、澤幡浩之、初川雄一、三浦勉、宮本ユタカ

留任幹事：大浦泰嗣、岡田往子、高宮幸一、榎本和義、松尾基之、松江秀明

2. 事業年度、会計年度について

標記の件について検討した。その結果、以下の結論になった。

(1) 幹事の呼称は選考時期により、例えば今年度選出された場合は 2008-2009 年度期幹事とする。

(2) 9 月 1 日から翌年度 8 月 31 日までを事業年度とし、会計は 7 月 31 日締めとする。

(3) 会誌の出版は 4 月、10 月を目標とする。

3. MTAA12 について

松尾幹事より、MTAA12 proceedings 発行に関する以下の報告があった。6 月末に 110 件の proceedings を JRNC Editor に送付した。現在、各著者に順次 proof が送付されている。JRNC11 月号、12 月号に掲載される見込み。今後の作業としては参加者への CD-ROM の発送が残っており、発送の終了を持って事業としての MTAA12 は終了となる。海老原代表幹事より、MTAA13 は Texas A & M で 2011 年 3 月に開催されるとの報告があった。

4. 会誌の発行について

大浦幹事より、現在 No.23 号の発行準備を行っており、10 月中には発行できる見込み。特集記事の企画案のストックがなくなりつつあるので、提案を期待するとの説明があった。

5. 2008-2009, 2009-2010 期の活動方針

海老原代表幹事より 2008-2009, 2009-2010 期の活動方針として、国内活動としては JAEA ユーザーと KUR ユーザーのさらなる連携を図ること、国外活動としてアジア各国、FNCA 参加国（10 カ国；オーストラリアを含む）との連携を図ることを目標としたいとの説明があった。

6. 各幹事の役割分担は以下のように決定した。

会誌：大浦、宮本、高宮、三浦（広告も大浦幹事に集約する。発行は年 2 回とする。）

会計：澤畑、初川

監査：河野

Home Page：榎本

会務：松江（会員管理。会計と連携し会費未納入者に対する対応を行う。）

行事：松尾、高宮

（未定：木川田、岡田）

6. その他

- ・会誌及び Web の位置づけについて意見交換を行った。

- ・KURにおいて、気送管照射設備、即発ガンマ線分析装置が整備されることになったことが紹介された。

以上（文責：三浦）